

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-510028(P2001-510028A)

【公表日】平成13年7月31日(2001.7.31)

【出願番号】特願2000-502802(P2000-502802)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
C 07 K	19/00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月20日(2005.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 血管増殖性疾患を、処置の必要のある患者において処置するための薬学的組成物であって、p27をコードする遺伝子の治療的有効量を含む、薬学的組成物。

【請求項2】 前記p27が、変異を含むかまたは第2のポリペプチドに融合される、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項3】 前記第2のポリペプチドが、チミジンキナーゼである、請求項2に記載の薬学的組成物。

【請求項4】 前記遺伝子が、発現ベクターに含まれる、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項5】 前記発現ベクターが、真核生物ベクターまたはウイルスベクターである、請求項4に記載の薬学的組成物。

【請求項6】 前記ウイルスベクターが、アデノウイルスベクターである、請求項5に記載の薬学的組成物。

【請求項7】 前記アデノウイルスベクターが、複製欠損である、請求項6に記載の薬学的組成物。

【請求項8】 前記血管増殖性疾患が、再狭窄である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項9】 前記血管増殖性疾患が、アテローム性硬化症である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項10】 前記血管増殖性疾患が、血管形成である、請求項1に記載の薬学的

組成物。

【請求項 11】 前記発現ベクターが、リポソーム中にカプセル化される、請求項4に記載の薬学的組成物。

【請求項 12】 前記患者がヒトである、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】 前記薬学的組成物が、非ウイルス性発現ベクターおよびウイルス性発現ベクターの1mlあたり約 $10^6 \sim 10^{11}$ p.f.uの量での投与のために処方される、請求項4に記載の薬学的組成物。

【請求項 14】 患者において内膜平滑筋細胞増殖を阻害するための薬学的組成物であって、p27をコードする遺伝子の治療的有効量を含む、薬学的組成物。

【請求項 15】 第2のポリペプチドに作動可能に連結される、p27の融合タンパク質。

【請求項 16】 前記第2のポリペプチドが、チミジンキナーゼである、請求項15に記載の融合タンパク質。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

(I . p27 およびその融合タンパク質)

p27(第1のポリペプチド)のアミノ酸配列を、図5(配列番号9)に示す。このタンパク質をコードするとのDNAも、本発明に従って使用され得る。p27をコードするcDNAは、PCT公開公報第WO95/18824号、PCT公開公報WO96/02140(出願人: Sloan-Kettering Institute For Cancer Research)、Toyoshimara(Cell 1994, 78: 67-74)、およびPolyakら(Cell 1994, 78: 59-66)に記載される。本明細書で使用される場合、「p27」とは、天然のままのp27ならびにその変異したp27および融合タンパク質の両方をいう。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

図5は、p27のDNA配列(配列番号1)およびタンパク質配列(配列番号9)を示す。